

2021映画版続・金色夜叉「あれから」 シナリオ

初版2019.11.21

改訂版2020.1.16

改訂二版2020.2.5

改訂三版2020.3.8

映画版改訂2021.5.14

改訂二版2021.6.1

原作 尾崎紅葉「続・金色夜叉 続々・金色夜叉 新続金色夜叉」

●このシナリオ（工程表）は現場で臨機応変に変更できるものとする

場面は

「お宮・貫一」の相まみえる場面（以下その1と呼ぶ）と貫一の回想場面（以下その2と呼ぶ）の2場面とする

ロケその一・・坂井温泉湯本館周辺

ロケその二・・石黒家旧邸の今をセッティングして使用

ロケその三・・奥田海岸（松林）にて

映画機材：カメラ等を必要複数台利用（石黒所有）

録画・録音方式 ビデオからダイレクト録音を原則として、音声が取りにくい場合には別録をする

配役：お宮：千歳蘭 贯一：天王左近 ナレーション（愛論萬蔵）

スタッフ：カメラクルー 主任愛論萬蔵・アシスタント空幾三 桜道

イチロー

監督： 愛論萬蔵 助監督：空幾三 桜道イチロー

音楽 数曲インスツルメンタル利用 ネットで著作権フリーで対応

その1

数カット 歩いている所前後、顔のアップ

ナレーション（バックに音楽使用）

1 カットお宮が貫一が向かう邸の道すがら歩いてくる全体カット 2 カット顔の大写し
(場所は湯本館周辺)

貫一が自宅でお宮を迎える顔の表情。大写し

尺は1~2分

熱海での別れがあつてから

貫一は裏切ったお宮を憎み、その一心で高利貸し鰐淵の手代となり、高利貸しとして名をはせていく、鰐淵の親分・女将が、貸し手恨みの放火で家とも焼かれた後、其の後を継ぎ、この先も夜叉のごとく、高利貸しで邁進する

一方お宮は、富山忠継の所の嫁ぎながらも、貫一を思い続け、富山とは心を通じさせない。お宮は病的にやせ衰えた。貫一に心情を解ってもらうべく「詫びの文」を何度も送るも、貫一は手紙を焼き見ようともしない。

遂にお宮は意を決し、貫一のもとを訪ねるのである。熱海で別れてから 5 年のことである。

その 2

カット

貫一が居間で待つ場面のカット

お宮が玄関に入るカット

貫一が玄関で出迎えるカット

貫一「どうぞ、お上がりなさい」

カット ここからのシーンは臨機応変に数カット

両者机で向かい合う（貫一の脇には日本刀が置かれている）

おもむろにお宮が話し出す

お宮 「お忙しい中、私のためにお時間をとっていただきありがとうございます

私はこの日が来るのを待ち望んでいました。今ままでは生きる事自体が苦しくてしようがありません。過去のすべてを懺悔するつもりで、死を覚悟してやってきました

ここにこうしてお目にかかるれば後生どんな後悔もありません。早く楽になりたいのです」

貫一は黙り続ける・・映像のアップ

ここから音楽がスタート

お宮 「貫、貫一さん早く、この刀を取ってください。そして私を殺して下さい。あなたの手にかけて殺して下さい。私はあなたの手にかかるて死ぬのは本望です。さあ、早く殺して、私は早く死にたい。後生だから一思いに殺して下さい」

演出 貫一は呆然自失、手にかけることができない

お宮 「あなたが殺して下さらなければ私は自害して死にますから、貫一さん、この刀を抜いて私に持たせてください。さあ、早く貫一さん、後生です。さ、さあ抜いてください」

演出 お宮と貫一は揉み合ううちに刀ははらりと落ち畳に突き刺さる

お宮「私はこれで死んでしまえば、もう二度とこの世でお目にかかることはないですから、一遍の回向(えこう)をして下さると思って今わの際(きわ)でただ一言、許してやるとおっしゃって下さい。生きているうちこそどんなにも憎くお思いでしょうけれど、死んでしまえばそれっきり。罪も恨みも消えて土になってしまします。私はこうして前非を後悔して、あなたの前で潔く命を捨てるのも、そのお詫びかしたいのですから、貫一さんこれまでの事は水に流して、もういい加減に堪忍して下さいまし。よう貫一さん、貫一さ～～ん」

演出 体震わせて、すぐると見れば、宮は男の近くの刀の剣先めがけ、喉を刺す。

喉をかすめた剣先が喉の血しぶきを演出する

貫一 「やったな」

お宮 「貫一さ～ん」

演出 お宮の喉は血まみれ。刃の半ばを貫けるなり

貫一 「お宮、貴様は～。これは何事だ～」

演出 貫一刀を抜き取らんとするも、緩めぬ女の力。

貫一 「これを放せ、これを放さんか。さあ、放せと言うのに、なぜ放さんのか」

お宮 「貫、貫一さん」

貫一 「おお、なんだ」

お宮 「私は嬉しい。もう……もう、思い残すことはない。堪忍して下さったのですね」

貫一 「まあ、この手を放せ」

お宮 「放さない！私はこれで安心して死ぬのです。貫一さん、ああ、もう気が遠くなってきたから、早く、早く許すと言って下さい。許す、許すと言って～」

演出 血は滾々とますます流れ、貫一見るにも堪えず、慌てまくる

貫一 「これ、宮、しっかりしろ」

お宮 「あい～」

貫一 「許したぞ、もう許した。もう、勘……勘……勘忍……した！！」

お宮 「貫一さん」

貫一 「宮！」

お宮 「嬉しい！私は嬉しい！！」

演出 貫一ただ、胸が張り裂けそうで、言葉が出ず。宮の熱い涙を拭きとり、抱きしめる。

演出 ようやく刀を放し、お宮、歩みもそぞろ、ころげながら、座敷の外に出
縁側に転げ落ちる

貫一 「宮、どこに行く～～～」（大声）

その2終了

その3（奥田海岸ロケと合成グリーンカーテン）

カットは臨機応変に数カット

ナレーション そして、50年後

宮を思うに、熱海の海岸に今一度訪れた貫一

貫一 「俺も年を取った」

「おれもあれから色々あったが、あの時からもうお宮に対する怒り、恨みは徐々に薄れ、高利貸しはつづけたものの、お金の力で、心中まじかの男女も救いた。金だけの呪縛からとかれたのも、あの時だった」

天国からの宮（別撮りナレーション）「貫一さん、よう堪忍して下さいました。宮は本当にうれしく存じます。命と引き換える、私の最後のお願いでした。「許す」という言葉は、富山家に嫁いでからも、お金よりも、何よりも私が一番望んだ言葉でした。金と愛を天秤にかけ、金を選んだ私の浅はかな選択は、富山家に嫁いでから本当に骨身に知れ、其の間違いがやっとわかったのでございます。その罪はもう取り返しがつかないものでした。何度も許しの手紙を貫一さんに書いても、受け取ってもらえず。それは、それは地獄の日々でした。さりとて、愛情のない形ばかりの富山家での生活も金・物だけに充足する生活は逆に心塞ぐ生活でした。嫁いでからわかった私の愚かさ。最後は手負いで貫一さんから消えました。その後、私はどうなったか？それは、貫一さん堪忍して下さい。それが「金色夜叉」の最後の秘密ですから。

ご自由に想像してくださいな。今はここで貫一さん、あなたを見守っています

この部分は編集（合成・別カット）で空の向こうにお宮の姿を入れる

制作スケジュール

6月9日(水)概要をメンバーに説明

この間、キャストは各自台詞を覚えることを専念し、練習日にその確認をする。練習日は演出に専念する

6月16日(水)第一回練習日。

6月23日(水)第二回練習日

6月下旬よりロケでの本撮り開始（日程は完成度により決定）

7月中旬ロケ終了→編集作業

7月下旬編集作業終了→you tube掲載

備考：映画製作に関する費用（経費）

○映画製作には費用を要するが、基本的にメンバーのボランティアに頼る

参考費用

- ・人的費用に関してはすべてメンバーのボランティア拠出とする
- ・撮影機材一切（カメラ・パソコン等）。石黒ボランティア拠出
- ・衣装等。 各自配役のボランティア拠出
- ・小道具類 メンバーが個人的に拠出できるものは個人拠出に頼るが、購入しなければならないものは制作経費で拠出（メンバーが資金を拠出）
- *（基本的に各メンバーがスタート時1,000円支出。お金の管理は会計がする。足らない場合は追加拠出する）
- ・移動経費等(食事等含む)各自のボランティア拠出
- ・その他費用がいるものが発生する場合は基本的にはメンバーのボランティア拠出
- ・市中の映画のように資金・物的支援（個人・団体）があれば、支援者名等を映画のエンドロールで公表する